石巻専修大学
●「石巻専修大学」ホームページ● http://www.isenshu-u.ac.jp

代表電話番号
0225（22）7711
広報専用FAX
0225（22）7809

仙台、県北部―大学間で 直通バス運行 朝夕２便

4月から、仙台市や宮城県北部地域からの遠距離通学者を対象に、大学独自の通学支援バスの運行を始めた。ルートは仙台駅東口―大学間と、県北部地域（登米市周辺）―大学間の2路線。

仙台駅発着のルートは21日から運行開始。三陸自動車道を利用して大学までノンストップで直行する。授業時間に合わせ、朝夕2便を運行。朝は仙台駅を午前8時10分発、同9時20分大学着。夕方は大学を午後6時30分発、仙台駅同7時40分着。ＪＲ仙石線を利用するよりも通学時間は大幅に短縮される。

県北部ルートも2便で4月1日から運行。朝は午前7時50分に登米市役所（佐沼）発、同9時20分大学着。夕方は大学を午後6時30分発、登米市役所同8時着。2便とも石越駅、柳津駅を経由する。

現在、仙台から仙石線で通学する学生は約400人。一方、県北部地域出身の学生は約130人おり、各々の通学を支援するもの。

また、これら通学支援バスの運行と合わせて、石巻駅―大学間の路線バス（㈱ミヤコーバス）運賃の補助も始めた。運賃250円のうち学生が負担するのは100円で、差額は本学が負担。このルートは1日14往復。利用する学生は約300人。

これらの取り組みによって学生がより通学しやすい環境が整った。今後とも利便性向上のため、通学支援のあり方について鋭意見直すこととしている。

▲　仙台直通バスを利用する学生

▲　路線バスは利用者も多く、好評

フランク安田没後50年
図書館で企画展開催

本学は新田次郎の小説「アラスカ物語」の主人公・フランク安田（本名・安田恭輔、1868―1958）の没後50年を記念した企画展を4月16日から30日まで図書館2階で開催。初公開となる新田氏の現地取材ノートや安田が開拓した当時のアラスカ・ビーバー村の写真、イヌイットの伝統工芸品など資料約50点を展示。期間中、多くの市民が見学に訪れ、貴重な資料の数々を熱心に見入っていた。

フランク安田は石巻市出身。1884年、16歳で渡米。イヌイットの生活の惨状を目の当たりにし、定住を決意。バロー（アラスカ州）でイヌイットの女性と結婚、ユーコン河畔にビーバー村を切り開いた。

企画展初日は修学旅行で石巻市を訪れていたビーバー村の子どもたちによるテープカットで開幕。羽田紘一図書館長は「石巻で生まれ育ち、アラスカでビーバー村を創設したフランク安田の足跡に触れてほしい」とあいさつした。

▲　あいさつする羽田図書館長

▼　土井石巻市長から感謝状を贈られる坂田学長（右）

本学に感謝状
石巻市合併３周年記念式典で

石巻市の合併3周年記念式典が4月20日、同市市民会館で開催された。

本学は石巻地域の振興と教育文化の発展に貢献したとして、土井喜美夫石巻市長から坂田隆学長に感謝状が手渡された。

現石巻市は05年4月1日に、旧石巻市と周辺6町が合併して誕生。現在、人口約16万人の宮城県第2の都市となっている。式典には来賓や招待者ら市民約1300人が出席した。

実り豊かな4年間を
フレッシュマンセミナー

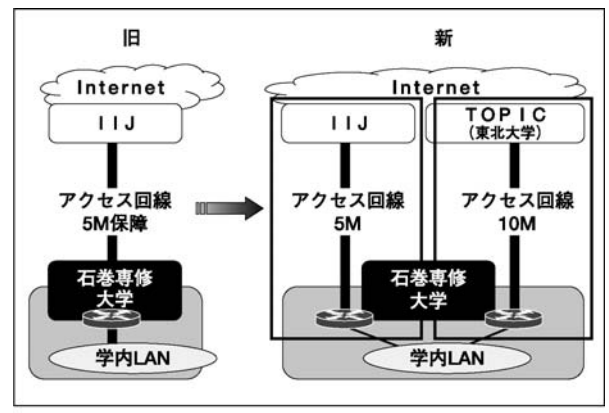
本学では、学生生活を始めるに当たって、必要とされるさまざまな知識やスキルを身につけ、それによって大学で過ごす4年間をより実り豊かなものとするために、新入生を対象とした必修科目（通年）として、フレッシュマンセミナーを開講している。

内容は、大きく分けて2つ。1つは、大学での勉学にあたって必要とされる能力やスキルの習得を目指す学習支援プログラム。もう1つは、学生生活を円滑に送るための情報や援助を提供する学生生活支援プログラムだ。

入学式後のオリエンテーションガイダンス期間中には、坂田隆学長が本学の教育理念と目的について、また、鈴木均理工学部長と三好幸治経営学部長も各学部の教育の特色などについて説明した。

▲　熱心に耳を傾ける新入生

インターネット接続環境が向上



本学では昨年から情報教育研究センター委員会内で上位インターネット接続の見直しについて検討を重ねてきたが、回線の二重化（マルチホーム）によって、次のような内容で運用を開始している。

従来は商用プロバイダー経由でインターネットに接続していたが、学術機関のサービス利用で、資料、ソフトのダウンロードや画像関連のデータベースへのアクセスに時間が掛かり過ぎるなど、研究や授業で少なからず支障があった。

①ＰＣ教室からのウェブアクセスは商用系（ＩＩＪ）回線経由。

②ＰＣ教室以外（研究室、実験室、事務など）からのウェブアクセスは学術系（東北大学）回線経由。

③その他アクセスは負荷分散装置により制御し、適宜接続回線を振り分ける。

④回線の二重化に伴い、一方の回線に障害が発生した場合、もう一方の回線に自動で切り替わる冗長化設計を採用。

マルチホームの今後の活用方法としては、２回線のうち１回線を利用して専修大学北上高校、石巻地域の高大接続研究の実験的遠隔授業の実施や、大学ホームページからの映像のライブ中継の実施などが期待されている。

（情報教育研究センター委員会）

みやぎ県民大学「石巻専修大学開放講座」
テーマは「知とこころ」

毎年幅広い年齢層の受講生を集めている、みやぎ県民大学「石巻専修大学開放講座」の08年度講座が7月31日まで12回、本学で開講される（本紙4月号既報）。今年は、開学20年記念事業の一環として、専修大学、専修大学北海道短期大学から講師を招く。

統一テーマは「知とこころ～創造する社会～」。21世紀を「知」に基づく地球規模の大交流時代ととらえ、「知」と「こころ」が交流し、創造を生み出す社会について考えていく。各回のテーマと講師は別表のとおり。

2008年度みやぎ県民大学「石巻専修大学開放講座」

5月15日	＜開講式＞	
	「ギルガメシュ叙事詩」から読み取ったこと	理工学部教授　鈴木　均
22日	野菜の来た道	専修大学北海道短期大学教授　溝延　学
29日	慶長遣欧使節船建造の「知」と「こころ」	理工学部教授　若月　昇
6月5日	夏目漱石『行人』と西田幾多郎『善の研究』	理工学部准教授　廣瀬　裕作
12日	細胞に「知」の源を探る	理工学部教授　芳賀　信幸
19日	知の測定	経営学部教授　阿部　康一
26日	実験科学の原点「仮説：地球は巨大な磁石」	理工学部教授　羽田　紘一
7月3日	グローバリゼーションと国際金融	経営学部教授　茂木　克昭
10日	誰でもエジソンになれる？ ―新技術創案の技法	理工学部教授　川名　武
17日	ロボットと人間の知と心はどうなっているのか	理工学部教授　綾　皓二郎
24日	〈どのように〉と〈何のために〉 ―技術と哲学	専修大学教授　大庭　健
31日	知の創発 ～身近なナレッジマネジメント	経営学部教授　松田　孝子
	＜閉講式＞	

5月実施の大学説明会
石巻専修大学の魅力について
本学スタッフが説明します

5月		
16日（金）	北　上	ホテルニューヴェール北上
19日（月）	八　戸	八戸グランドホテル
	仙　台	アエル
20日（火）	青　森	ホテル青森
22日（木）	秋　田	ホテルメトロポリタン秋田
23日（金）	山　形	山交ビル
26日（月）	仙　台	アエル
27日（火）	郡　山	郡山ビューホテルアネックス

専修3大学進学ガイダンス
石巻専修大学、専修大学、
専修大学北海道短期大学が
一堂に集まって専修3大学の紹介をします
日時／5月22日（木）
受付（生徒・父母）／15：00～17：00
会場／情報・産業プラザ「アエル」
（5階多目的ホール）
宮城県仙台市青葉区中央1-3-1
☎022-724-1200

オープンキャンパス
6/28㊏　7/26㊏　7/27㊐　8/30㊏
10/11㊏　10/12㊐　11/15㊏
―― 各日とも11：00～15：00開催 ――
「保護者の方も、ぜひご一緒にお越しください」（入退場自由・事前予約不要）
石巻専修大学にて
● キャンパス最新情報発信中!!　http://www.isenshu-u.ac.jp
● 入試に関する問い合わせは、入学試験係まで
〒986-8580（専用郵便番号につき住所は省略できます）
宮城県石巻市南境新水戸１
☎0225-22-7717（直通）　FAX0225-22-7809
E-mail:nyushi@isenshu-u.ac.jp